



## 2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月14日

上場会社名 株式会社ZenmuTech 上場取引所 東  
コード番号 338A URL <https://zenmutech.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 田口 善一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 酒井 茂輝 TEL 03 (6260) 6195  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第1四半期の業績 (2025年1月1日～2025年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	161	—	△7	—	△3	—	△2	—
2024年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△2.34	—
2024年12月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 2024年12月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第1四半期の数値及び2024年12月期第1四半期並びに2025年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,052	584	55.0
2024年12月期	656	237	35.4

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 578百万円 2024年12月期 232百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年12月期の業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	376	△6.3	33	△75.8	47	△65.9	40	△60.8	33.00
通期	850	31.0	112	47.0	145	72.5	159	102.9	123.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	1,312,800株	2024年12月期	1,072,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	一株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 1 Q	1,088,800株	2024年12月期 1 Q	一株

(注) 当社は2024年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第1四半期の期中平均株式数は記載していません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変更する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	5
(セグメント情報等の注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	5
(重要な後発事象) .....	5

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における当社を取り巻く経営環境につきましては、日本政府による「能動的サイバー防御」法案が閣議決定され、サイバー安全保障分野における能動的サイバー防御の実現に向けた検討を進めることが明記されたことにより、サイバーセキュリティへの注目度は非常に高いものとなっております。

また民間企業におきましても、組織規模を問わずランサムウェアの被害等が増加傾向にあることや、働き方の多様化により人と情報があらゆる場所に分散するとともに、利用するツールの多様化も相まって情報漏洩のリスクは高まっていることを背景にIT投資及びDX推進によるセキュリティ対策が堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社の主要な技術である、情報を暗号化して複数に分割管理することで、それぞれのデータを無意味化し、情報の安全を守る秘密分散ソリューション「ZENMU」シリーズは、エンドポイントセキュリティとして従業員のリモートワークなどの多様な働き方を重視し、情報漏洩等のセキュリティインシデント発生の抑制及び発生時の被害のリスクを減少したい顧客への導入が増加しております。特に「ZENMU」シリーズの主力となる「ZENMU Virtual Drive (ZVD)」は、契約更新数及び新規受注数も好調に推移し、事業成長をけん引しております。

2025年2月には、VDIやDaaS利用時のFAT PCのデータ保護をより完全なものとするために、従来のセキュアFATソリューション「ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition (ZEE)」の機能を制限した「ZENMU Virtual Drive Limited Edition (ZLE)」の提供開始、大規模な自然災害や広域災害時にも「ZENMU Virtual Drive (ZVD)」を継続してご利用いただけるよう、「ZENMU Virtual Drive ディザスタリカバリ オプション」のサービスを開始いたしました。

新商品のリリースと継続的なマーケティング活動により当社製品の認知度向上に注力するとともに、販売パートナー様との協業に取り組みました。その結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高161,215千円、営業損失7,151千円、経常損失3,477千円、四半期純損失2,547千円となりました。

なお、当社は情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は990,341千円となり、前事業年度末と比較して386,773千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が356,071千円増加したことによるものであります。固定資産は61,679千円となり、前事業年度末と比較して8,258千円の増加となりました。これは主に、ソフトウェアが2,744千円及びソフトウェア仮勘定が4,385千円増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は1,052,021千円（前事業年度末比395,032千円増加）となりました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は467,881千円となり、前事業年度末と比較して59,910千円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が83,836千円増加したことによるものであります。固定負債は前事業年度末と比較して11,195千円減少し、残高はありません。これは長期借入金を全額返済したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は467,881千円（前事業年度末比48,715千円増加）となりました。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は584,139千円となり、前事業年度末と比較して346,316千円の増加となりました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への新規上場に伴う新株発行による資本金174,432千円の増加及び資本剰余金174,432千円の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年3月27日付「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	507,266	863,338
売掛金	74,558	79,961
仕掛品	2,288	5,426
その他	19,454	41,615
流動資産合計	603,567	990,341
固定資産		
有形固定資産	2,246	2,406
無形固定資産		
ソフトウェア	11,767	14,511
ソフトウェア仮勘定	8,497	12,882
無形固定資産合計	20,264	27,394
投資その他の資産	30,909	31,878
固定資産合計	53,421	61,679
資産合計	656,988	1,052,021
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	119,164	203,000
未払法人税等	12,509	—
契約負債	205,952	178,741
賞与引当金	15,195	5,333
その他	55,149	80,806
流動負債合計	407,970	467,881
固定負債		
長期借入金	11,195	—
固定負債合計	11,195	—
負債合計	419,165	467,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	219,650	394,082
資本剰余金	387,295	561,727
利益剰余金	△374,399	△376,947
株主資本合計	232,545	578,862
新株予約権	5,277	5,277
純資産合計	237,823	584,139
負債純資産合計	656,988	1,052,021

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)
売上高	161,215
売上原価	23,323
売上総利益	137,892
販売費及び一般管理費	145,043
営業損失(△)	△7,151
営業外収益	
受取利息	250
補助金収入	17,979
その他	0
営業外収益合計	18,229
営業外費用	
支払利息	391
株式交付費	13,163
上場関連費用	1,000
営業外費用合計	14,555
経常損失(△)	△3,477
税引前四半期純損失(△)	△3,477
法人税等	△930
四半期純損失(△)	△2,547

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社は、情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2025年3月26日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式240,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ174,432千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が394,082千円、資本剰余金が561,727千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	2,223千円

(重要な後発事象)

(第三者割当増資による新株式の発行)

当社は、2025年2月21日及び2025年3月6日開催の取締役会決議に基づき、岡三証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しについて、以下のとおり同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を実施し、2025年4月18日に払込が完了いたしました。

- (1) 募集方法: 第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出し）
- (2) 発行する株式の種類及び数: 普通株式 43,200株
- (3) 割当価格: 1株につき 1,453.60円
- (4) 資本組入額: 1株につき 726.80円
- (5) 割当価格の総額: 62,795千円
- (6) 資本組入額の総額: 31,397千円
- (7) 払込期日: 2025年4月18日
- (8) 割当先: 岡三証券株式会社
- (9) 資金の使途: 当社が成長事業と位置づけしている「秘密計算ビジネス」における技術開発要員、営業要員及び米国駐在要員の人件費及びこれに伴う人材採用費として、充当する予定でございます。